

進行管理シート

目標 【安全】1. 安全な水を届けます

実現方策 1-1 適切な水質管理(水安全計画の推進)

1. 主な指標

PI番号	指標名	単位	2017	2019数値	2028(目標値)
A201	原水水質監視度	項目	37 (1カ月に一回以上)	43	43 (1カ月に一回以上)
A301	水源の水質事故件数	件	0	0	0
A401	鉛製給水管率	%	15.6	14.5	10.0以下

2. 具体的な取り組み(令和5年度・給水装置工)

○水質管理の徹底

種別	取組内容	担当課	事業費(千円)	方向性
継続	水道水の安全性を維持するため、水安全計画を推進する。	浄水課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	水安全計画推進ワーキングチームを立上げ、先行都市への視察を実施して推進体制を確立した。	評価	1
---------	---	----	---

○自己水源の適正な保全

種別	取組内容	担当課	事業費(千円)	方向性
継続	流木浄水場の水源である深井戸の適正な維持管理を実施する。	浄水課	—	継続
継続	流木浄水場の水源である深井戸の水質変化が早期に検知できるよう水質検査体制を構築する。	浄水課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	深井戸揚水ポンプの整備を実施し、水源監視の水質検査項目を増加させるため、誘導結合プラズマ質量分析計を導入した。	評価	1
---------	---	----	---

○残留塩素濃度の管理体制の強化

種別	取組内容	担当課	事業費(千円)	方向性
継続	水安全計画に基づいた管理目標値を遵守するため、設備点検及び水質検査を実施する。	浄水課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	定期的な薬品注入設備点検及び水質モニター等による水質検査を実施して、管理目標値内に収まるよう薬品注入量を調整した。	評価	2
---------	---	----	---

○鉛製給水管の解消

種別	取組内容	担当課	事業費(千円)	方向性
継続	多種多様な手法での取り組みにより、効果的・計画的な鉛製給水管の解消を図る。	上水道工務課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	管路更新で効率よく解消できる密集路線は減少しているが、修繕工事や建替え等での給水管取替えにより、計画件数を上回る442件が解消された。	評価	1
---------	---	----	---

3. 総合的な評価と方向性

総合評価	1	水質管理の徹底など水安全計画を推進し、各種の取り組みについては順調な進捗で目標到達が見込める状況である。	方向性
			継続

方向性	継続…現状通り取組を継続することが適当である 拡充…取組方法の拡充を図る必要がある 縮小…取組方法の規模の縮小を図る 改善…取組内容や方法を見直す必要がある 廃止…取組を廃止すべきである 事業完了…目標達成のため終了した事業
-----	---

評価	1…「目標に向けて計画通りに進捗」 2…「進捗に少し遅れがあるが、翌年度以降の計画期間内に目標到達する見込みがある」 3…「取組内容の拡充や見直しが必要」
----	---

進行管理シート

目標 【安全】1. 安全な水を届けます

実現方策 1-2 安定した給水

1. 主な指標

PI番号	指標名	単位	2017	2019数値	2028（目標値）
B208	給水管の事故割合	件/1000件	2.6	3.8	2.6以下

2. 具体的な取り組み（令和5年度） 給水装置工事

○的確な給水装置工事審査の実施

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	給水装置工事施行要領に基づく的確な設計審査及び工事検査の実施を行う。	上水道工務課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	1,215件の申込みに対する的確な設計審査及び工事検査を実施し、安全で安心な給水管理に努めた。	評価	1
---------	---	----	---

○貯水槽水道の適正管理

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	小規模貯水槽設置者へのリーフレット配布や指導マニュアルの更新を行う。	上水道工務課	6	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	貯水槽設置者714戸にリーフレットを配布し、点検及び清掃依頼で適正管理の啓発に努めた。	評価	1
---------	---	----	---

○直結増圧給水方式の普及促進

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	直結増圧給水方式への変更を啓発し、直結給水の普及促進を行う。	上水道工務課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	貯水槽設置者に対し、直結給水に関するメリットのPRで啓発を行った結果、直結増圧方式への変更が1件あった。今後も引き続き、啓発等を行い直結給水の普及促進を行う。	評価	1
---------	---	----	---

○指定給水装置工事事業者制度の改善

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
新規	指定給水装置工事事業者への制度改正の周知を行う。	総務課	—	継続
新規	ホームページ記載の事業者運営情報を見直す。	総務課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	登録業者すべてに法改正の周知と運営状況調査を行ったところ、事業者の登録情報の変更手続が増加した。今後の更新手続によってさらに多くの情報更新が見込まれる。	評価	1
---------	--	----	---

3. 総合的な評価と方向性

総合評価	1	方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 給水装置の安全性や貯水槽水道における衛生的な水の確保など、適切な取り組みが遂行できている。 水道法の改正に伴う周知と運営状況調査により、事業者の運営状況把握が大きく進んだ。今後も周知徹底行っていく。 	継続

方向性	継続…現状通り取組を継続することが適当である 拡充…取組方法の拡充を図る必要がある 縮小…取組方法の規模の縮小を図る 改善…取組内容や方法を見直す必要がある 廃止…取組を廃止すべきである 事業完了…目標達成のため終了した事業
-----	---

評価	1…「目標に向けて計画通りに進捗」 2…「進捗に少し遅れがあるが、翌年度以降の計画期間内に目標到達する見込みがある」 3…「取組内容の拡充や見直しが必要」
----	---

進行管理シート

目標 【強靱】2. 耐震化を進めます

実現方策 2-1 水道施設の耐震化の推進

1. 主な指標

PI番号	指標名	単位	2017	2019数値	2028（目標値）
B604	配水池の耐震化率	%	19.0	19.0	67.0
—	基幹管路等の耐震適合率	%	24.5	28.1	38.0

2. 具体的な取り組み（令和5年度・給水装置工）

○ポンプ所・配水池等の耐震化

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
新規	流木高区ポンプ所、次亜塩注入施設の耐震工事実施設計を行う。	浄水課	17,550	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	流木4・5号配水池の耐震補強の詳細設計時に、地盤の支持力不足が判明し、新設するより事業費が必要であると判明した。このため流木4・5号配水池の耐震補強は中止し、施設更新計画の変更を行う。	評価	3
---------	--	----	---

○水道管の耐震化

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	地震に強い配水系統を構築するため、基幹管路等の耐震化を進める。	上水道工務課	2,096,547	継続
新規	導水管（さく井～浄水場）・送水管（浄水池～流木配水池）・配水本管（流木配水場場内）耐震工事実施設計を行う。	浄水課	3,880	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	中長期計画における耐震化方針に基づき、効率的で効果的な管路の耐震化を図った。耐震化が完了した流木浄水場廻りの基幹管路の早期耐震化を実施する。	評価	1
---------	--	----	---

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

3. 総合的な評価と方向性

総合評価	1	配水池や水道管などの水道施設について、中長期計画に基づき効率的で効果的な耐震化が概ね順調に進捗している。	方向性
			継続

方向性	継続…現状通り取組を継続することが適当である 拡充…取組方法の拡充を図る必要がある 縮小…取組方法の規模の縮小を図る 改善…取組内容や方法を見直す必要がある 廃止…取組を廃止すべきである 事業完了…目標達成のため終了した事業
-----	---

評価	1…「目標に向けて計画通りに進捗」 2…「進捗に少し遅れがあるが、翌年度以降の計画期間内に目標到達する見込みがある」 3…「取組内容の拡充や見直しが必要」
----	---

進行管理シート

目標 【強靱】3. 災害に備えます

実現方策 3-1 危機管理装備の充実

1. 主な指標

PI番号	指標名	単位	2017	2019数値	2028（目標値）
—	応急給水設備の設置個所数	箇所	6	6	8
—	自家発電設備設置ポンプ所数	箇所	6	6	7

2. 具体的な取り組み（令和3年度・給水装置工）

○応急給水拠点の整備

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
新規	現状と課題の整理を行い、課題への対応と必要な整備項目を検討する。	上水道工務課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	応急給水施設密度が低い水準であることを踏まえ、応急給水活動における水運搬距離を考慮した新たな拠点施設の位置付けと整備の必要性について検討した。	評価	1
---------	---	----	---

○応急給水設備等の整備

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
新規	流木配水場の応急給水設備設置工事実施設計（応急給水栓、給水車用応急給水栓）を行う。	浄水課	430	継続
継続	流木・今木・赤山・光明配水場で応急給水訓練を実施し、応急給水資材の点検確認を行う。	浄水課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	応急給水訓練を通じて、さらに必要な資材資材の確認ができたため、令和2年度に購入する。	評価	1
---------	--	----	---

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

3. 総合的な評価と方向性

総合評価	1	応急給水拠点の位置づけと必要な応急給水設備の整備を検討し、危機管理装備の充実に向けた取り組みは順調に進捗している。	方向性
			継続

方向性	継続…現状通り取組を継続することが適当である 拡充…取組方法の拡充を図る必要がある 縮小…取組方法の規模の縮小を図る 改善…取組内容や方法を見直す必要がある 廃止…取組を廃止すべきである 事業完了…目標達成のため終了した事業
-----	---

評価	1…「目標に向けて計画通りに進捗」 2…「進捗に少し遅れがあるが、翌年度以降の計画期間内に目標到達する見込みがある」 3…「取組内容の拡充や見直しが必要」
----	---

進行管理シート

目標 【強靱】3. 災害に備えます

実現方策 3-2 危機管理体制の構築

1. 主な指標

PI番号	指標名	単位	2017	2019数値	2028（目標値）
B210	災害対策訓練実施回数	回/年	14	20	17以上

2. 具体的な取り組み（令和5年度・給水装置工）

○危機対応マニュアルの更新・整備

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	各種マニュアルを整備し、実行性が担保できるように訓練を実施していく。	総務課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	「地震対策マニュアル」「湯水対策マニュアル」「テロ対策マニュアル」の更新を行った。	評価	1
---------	---	----	---

○きめ細やかな準備

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
新規	災害対策用品の調達を行う。	総務課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	非常用飲料水袋等、応急給水備品が無かった為、令和元年8月に配備した給水車の利用は限定的であったが、非常用飲料水袋を調達したことにより、利用の幅が広がった。今後も必要な災害対策用品を調達し、それらを利用した訓練を行い、大規模災害に備えていく。	評価	1
---------	--	----	---

○災害対策訓練の実施

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	各種災害対策マニュアルに記載されている役割分担を踏まえた訓練を行い、職員ひとりひとりの防災意識と防災力を高めていく。	総務課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	総合防災訓練や大阪広域水道企業団、日本水道協会主催の防災訓練に参加した。また(株)ファノバと合同で給水車を使った訓練も行った。	評価	1
---------	---	----	---

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

3. 総合的な評価と方向性

総合評価	1	迅速な災害対応が行えるよう、引き続きマニュアル整備、訓練の充実を行い、危機管理能力の向上に努めていく。	方向性
			継続

方向性	継続…現状通り取組を継続することが適当である 拡充…取組方法の拡充を図る必要がある 縮小…取組方法の規模の縮小を図る 改善…取組内容や方法を見直す必要がある 廃止…取組を廃止すべきである 事業完了…目標達成のため終了した事業
-----	---

評価	1…「目標に向けて計画通りに進捗」 2…「進捗に少し遅れがあるが、翌年度以降の計画期間内に目標到達する見込みがある」 3…「取組内容の拡充や見直しが必要」
----	---

進行管理シート

目標 【持続】4. 健全な施設を保持します

実現方策 4-1 老朽化した施設の適正な維持管理・更新

1. 主な指標

PI番号	指標名	単位	2017	2019数値	2028（目標値）
B503	法定耐用年数超過管路率	%	27.2	32.3	39.0
—	更新基準年数超過管路率	%	23.7	21.9	31.5
B502	法定耐用年数超過設備率	%	31.7	34.2	37.5
—	更新基準年数超過設備率	%	13.3	13.5	12.4

2. 具体的な取り組み（令和元年度）

○継続した老朽化対策

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	更新基準年数や老朽度等を多面的に検討した効率的な管路の更新を行う。	上水道工務課	2,096,547	継続
継続	中長期計画に基づく設備の更新を推進する。	浄水課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・管路診断システムを活用し、リスクの高い老朽管を優先的に布設替えを行った。 ・維持管理を適正に行い延命化を図ると共に更新が必要な設備は更新を進める。 	評価	1
---------	---	----	---

○適正な維持管理の実施

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	管路情報を一元管理するマッピングシステムにより、計画的な維持管理を行う。	上水道工務課	4,242	継続
継続	安定して水道水を供給するため、計画的な維持管理を推進する。	浄水課	32,477	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・竣工図面や給水台帳については、マッピングシステムにより一元管理できているが、施設台帳については未入力である。 ・必要な機器の整備を行い延命化を図っている。 	評価	1
---------	---	----	---

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

3. 総合的な評価と方向性

総合評価	1	中長期計画に基づき、老朽化した施設の適正な維持管理・更新を実施した。継続して事業を推進する。また、施設台帳については、マッピングシステムにより一元管理をするため、引き続き台帳整備を行う。	方向性
			継続

方向性	継続…現状通り取組を継続することが適当である 拡充…取組方法の拡充を図る必要がある 縮小…取組方法の規模の縮小を図る 改善…取組内容や方法を見直す必要がある 廃止…取組を廃止すべきである 事業完了…目標達成のため終了した事業
-----	---

評価	1…「目標に向けて計画通りに進捗」 2…「進捗に少し遅れがあるが、翌年度以降の計画期間内に目標到達する見込みがある」 3…「取組内容の拡充や見直しが必要」
----	---

進行管理シート

目標 【持続】4. 健全な施設を保持します

実現方策 4-2 水道施設規模の最適化

1. 主な指標

PI番号	指標名	単位	2017	2019数値	2028（目標値）

2. 具体的な取り組み（令和元年度）

○施設規模の最適化を考慮した更新整備

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	管路更新時における、実情に応じたダウンサイジングでの最適化を実施する。	上水道工務課	2,096,547	継続
新規	流木配水場1・2・3号配水池の廃止検討を行う。	浄水課	—	継続
新規	流木配水場送配水ポンプ容量の適正化を実施する。	浄水課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	<ul style="list-style-type: none"> 中長期計画の検討結果を基に管網計算を適宜行い、最適な規模での管路更新を行った。 流木配水場の配水池は、配水量の減少に伴い、容量に余裕が発生し、水道事業当初からある1号配水池を含む3池の廃止を進めていく。また、配水量減少に伴うポンプ容量を見直し整備する。 	評価	1
---------	---	----	---

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

3. 総合的な評価と方向性

総合評価	1	中長期計画に基づき、将来の水需要減少に応じた規模で更新整備を実施しており、水道施設規模の最適化は順調に進捗している。	方向性
			継続

方向性

継続…現状通り取組を継続することが適当である
 拡充…取組方法の拡充を図る必要がある
 縮小…取組方法の規模の縮小を図る
 改善…取組内容や方法を見直す必要がある
 廃止…取組を廃止すべきである
 事業完了…目標達成のため終了した事業

評価

1…「目標に向けて計画通りに進捗」
 2…「進捗に少し遅れがあるが、翌年度以降の計画期間内に目標到達する見込みがある」
 3…「取組内容の拡充や見直しが必要」

進行管理シート

目標 【持続】5. サービスの向上に努めます

実現方策 5-1 お客様の利便性向上

1. 主な指標

PI番号	指標名	単位	2017	2019数値	2028（目標値）

2. 具体的な取り組み（令和5年度・給水装置工）

○お客様の利便性向上

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
新規	水道料金の収納にあたり、直接金融機関やコンビニエンスストアへ出向くことなく支払いできる決済サービスの導入を検討する。	料金課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	モバイル（スマートフォン等）決済の導入の検討を行った。	評価	1
---------	-----------------------------	----	---

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

3. 総合的な評価と方向性

総合評価	1	お客様の利便性の向上において、水道料金支払い方法の多様化の流れは必然であり、新たな決済サービス導入を検討するなど更なる取り組みが求められる。 システム更新費用、支払手数料等の必要経費も考慮しつつ、今後も利便性の向上に努める。	方向性 継続
------	---	---	---------------

方向性	継続…現状通り取組を継続することが適当である 拡充…取組方法の拡充を図る必要がある 縮小…取組方法の規模の縮小を図る 改善…取組内容や方法を見直す必要がある 廃止…取組を廃止すべきである 事業完了…目標達成のため終了した事業
-----	---

評価	1…「目標に向けて計画通りに進捗」 2…「進捗に少し遅れがあるが、翌年度以降の計画期間内に目標到達する見込みがある」 3…「取組内容の拡充や見直しが必要」
----	---

進行管理シート

目標 【持続】5. サービスの向上に努めます

実現方策 5-2 水道事業の見える化

1. 主な指標

PI番号	指標名	単位	2017	2019数値	2028（目標値）
C402	インターネットによる情報の提供度	回/年	199	242	300
—	ホームページアクセス数増加割合	%	100	95	100以上
—	水道施設見学受入回数	回	10	2	10以上

2. 具体的な取り組み（令和5年度・給水装置工）

OPR活動の充実

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	水道事業への理解・関心を高めるため、各種イベントを実施する。	総務課	25	継続
継続	「PR活動アクションプラン」の改定を行う。	総務課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	令和元年度までのアクションプランに進捗の遅れがあった。今後は、局全体がPR担当として取り組める体制づくりの推進が必要。	評価	2
---------	---	----	---

○水道施設見学の受入

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	水道事業への理解を深めてもらうため、流木浄水場の見学を実施する。	浄水課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	2019年G20大阪サミット開催に係る水道対策実施方針に基づき、浄水場監視体制強化対策を実施したため、やむを得ず小学校の施設見学受入れを中止した。小学校の水道施設見学の受入を推進する。	評価	2
---------	--	----	---

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

3. 総合的な評価と方向性

総合評価	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今までのイベント等のPR活動だけではなく、上下水道局全体としてより効果的な情報発信ができるような手段を検討し、市民の関心や理解、協力をいただけるよう努めていく。 ・今年度は外的要因により水道施設見学の受入れの目標が達成できなかったが、継続して事業を推進する。 	方向性 継続
------	---	---	---------------

方向性	継続…現状通り取組を継続することが適当である 拡充…取組方法の拡充を図る必要がある 縮小…取組方法の規模の縮小を図る 改善…取組内容や方法を見直す必要がある 廃止…取組を廃止すべきである 事業完了…目標達成のため終了した事業
-----	---

評価	1…「目標に向けて計画通りに進捗」 2…「進捗に少し遅れがあるが、翌年度以降の計画期間内に目標到達する見込みがある」 3…「取組内容の拡充や見直しが必要」
----	---

進行管理シート

目標 【持続】6. 業務の効率化を図ります

実現方策 6-1 業務体制の効率化

1. 主な指標

PI番号	指標名	単位	2017	2019数値	2028（目標値）

2. 具体的な取り組み（令和5年度・給水装置工）

○システムの効率的な運用管理

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	一部のシステムの更新と全体の機器更新を実施する。	総務課	33,147	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	更新対象であった各システムについては円滑に移行作業が終了した。局ネットワーク内の効率的な運用について今後も検討していく。	評価	1
---------	--	----	---

○水道施設台帳の活用

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	水道施設台帳の記載内容を更新する。	浄水課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	新設設備の追加、設備更新、記載情報の項目追加、既存記載内容の整理を行っているが、多岐の情報整理に時間を要している。	評価	3
---------	---	----	---

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

3. 総合的な評価と方向性

総合評価	1	更新した各システムを局内で効率的に活用できるよう、業務精度の向上に努めていく。	方向性
			継続

方向性

継続…現状通り取組を継続することが適当である
 拡充…取組方法の拡充を図る必要がある
 縮小…取組方法の規模の縮小を図る
 改善…取組内容や方法を見直す必要がある
 廃止…取組を廃止すべきである
 事業完了…目標達成のため終了した事業

評価

1…「目標に向けて計画通りに進捗」
 2…「進捗に少し遅れがあるが、翌年度以降の計画期間内に目標到達する見込みがある」
 3…「取組内容の拡充や見直しが必要」

進行管理シート

目標 【持続】6. 業務の効率化を図ります

実現方策 6-2 環境負荷の低減対策

1. 主な指標

PI番号	指標名	単位	2017	2019数値	2028（目標値）
B301	配水量1㎡当たり電力消費量	kWh/㎡	0.16※	0.15	0.16以下

※流木浄水場停止による影響を受ける指標のため、2016年度数値を採用

2. 具体的な取り組み（令和元年度）

○省エネルギー設備の導入検討

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	施設更新時における省エネルギー設備の導入検討を推進する。	浄水課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	将来水量を見据え流木配水場送配水ポンプ更新機器のダウンサイジングを検討した。	評価	1
---------	--	----	---

○小水力発電の活用

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	小水力発電の活用を推進する。	浄水課	660	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	小水力発電設備は導入後16年が経過し、発電設備を保護するための保護継電器が故障し約3箇月にわたり発電を停止することになった。また、年々減少し続ける給水量により発電量も低下している。今後、施設更新時に新たな小水力発電設備の導入の検討を進める必要がある。	評価	3
---------	---	----	---

○省資源対策の推進

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	工事において、環境負荷の小さい機械材料を積極的に使用し、環境負荷の低減に努める。	上水道工務課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	工事については、再生材を積極的に使用し、アスファルト等の処分についても資源リサイクルに努めた。	評価	1
---------	---	----	---

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

3. 総合的な評価と方向性

総合評価	1	全ての管路工事で再生材使用などリサイクルに努めており、今後も適切な省資源対策として継続する。	方向性
			継続

方向性
継続…現状通り取組を継続することが適当である
拡充…取組方法の拡充を図る必要がある
縮小…取組方法の規模の縮小を図る
改善…取組内容や方法を見直す必要がある
廃止…取組を廃止すべきである
事業完了…目標達成のため終了した事業

評価
1…「目標に向けて計画通りに進捗」
2…「進捗に少し遅れがあるが、翌年度以降の計画期間内に目標到達する見込みがある」
3…「取組内容の拡充や見直しが必要」

進行管理シート

目標 【持続】6. 業務の効率化を図ります

実現方策 6-3 民間活用の検討

1. 主な指標

PI番号	指標名	単位	2017	2019数値	2028（目標値）

2. 具体的な取り組み（令和5年度・給水装置工）

○民間活力の導入と連携体系の構築

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
新規	基盤強化の選択肢拡充のため、DB発注方式など地域の実情に応じた官民連携の検討を行う。	上水道工務課	—	拡充

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	小規模な管路更新のDB発注方式導入を検討するため、日本ダクトイル鉄管協会が主催する研究会への参加に向けて調査研究を行った。	評価	1
---------	---	----	---

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

3. 総合的な評価と方向性

総合評価	1	小規模な管路更新のDB発注方式の調査研究は順調に進捗している。引き続き民間活力導入の実現に向け取り組みを継続する。	方向性
			拡充

方向性	継続…現状通り取組を継続することが適当である 拡充…取組方法の拡充を図る必要がある 縮小…取組方法の規模の縮小を図る 改善…取組内容や方法を見直す必要がある 廃止…取組を廃止すべきである 事業完了…目標達成のため終了した事業
-----	---

評価	1…「目標に向けて計画通りに進捗」 2…「進捗に少し遅れがあるが、翌年度以降の計画期間内に目標到達する見込みがある」 3…「取組内容の拡充や見直しが必要」
----	---

進行管理シート

目標 【持続】6. 業務の効率化を図ります

実現方策 6-4 広域化の検討

1. 主な指標

PI番号	指標名	単位	2017	2019数値	2028（目標値）

2. 具体的な取り組み（令和元年度）

○水道事業広域化の検討

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
新規	大阪府主催の「府域一水道に向けた水道のあり方協議会」に参加し、広域化に向けて検討を進める。	総務課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	今後は本市のメリットやデメリットを精査し、方向性を判断していく。	評価	1
---------	----------------------------------	----	---

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

3. 総合的な評価と方向性

総合評価	1	水道事業の広域化について、本市のメリット、デメリットを十分に精査し、方向性についての検討を進めていく。	方向性
			継続

方向性

継続…現状通り取組を継続することが適当である
 拡充…取組方法の拡充を図る必要がある
 縮小…取組方法の規模の縮小を図る
 改善…取組内容や方法を見直す必要がある
 廃止…取組を廃止すべきである
 事業完了…目標達成のため終了した事業

評価

1…「目標に向けて計画通りに進捗」
 2…「進捗に少し遅れがあるが、翌年度以降の計画期間内に目標到達する見込みがある」
 3…「取組内容の拡充や見直しが必要」

進行管理シート

目標 【持続】7. 持続可能な経営に努めます

実現方策 7-1 安定した経営の継続

1. 主な指標

PI番号	指標名	単位	2017	2019数値	2028（目標値）
C102	経常収支比率	%	101.3	105.2	100以上
C112	給水収益に対する企業債残高の割合	%	359.6	408.9	500
C113	料金回収率	%	97.5	101.3	100以上
C118	流動比率	%	218.8	110.4	200以上

2. 具体的な取り組み（令和元年度）

○経営戦略の推進

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
新規	アセットマネジメントを取り入れた計画に基づく予算編成・執行管理を行う。	総務課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	令和2年度予算において第3次施設更新事業の継続費を設定した。今後予算の執行管理を通じて計画との差を定期的に確認するとともに、赤山配水場増強等に関して新たな継続費を設定する必要がある。	評価	1
---------	---	----	---

○企業債残高の抑制

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
新規	補助金等の財源を確保することにより企業債残高を抑制する。	総務課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	令和元年度末時点の企業債残高は、繰越の発生等により事業費が少なくなったため、計画額を下回ったものの、給水収益が大幅に減少したため、給水収益に対する企業債残高の割合は、計画値を上回った。	評価	1
---------	--	----	---

○水道料金水準の適正化

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	中長期的な視点から適正な料金水準の検討を行う。	総務課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	経営戦略における財政シミュレーションにより将来的な料金水準の見直しの必要性を認識した。今後は、投資費用とのバランスに留意しながら、適正な負担の水準についてより具体的に検討する必要がある。	評価	1
---------	---	----	---

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

3. 総合的な評価と方向性

総合評価	1	令和元年度は、給水収益が想定以上に大幅な減少となったが、それ以外はほぼ計画どおりであった。今後も予算編成及び執行管理を通じて着実に計画の実現を図っていくとともに、補助金等の財源の確保や料金水準の検討を進める必要がある。	方向性
			継続

方向性

継続…現状通り取組を継続することが適当である
 拡充…取組方法の拡充を図る必要がある
 縮小…取組方法の規模の縮小を図る
 改善…取組内容や方法を見直す必要がある
 廃止…取組を廃止すべきである
 事業完了…目標達成のため終了した事業

評価

1…「目標に向けて計画通りに進捗」
 2…「進捗に少し遅れがあるが、翌年度以降の計画期間内に目標到達する見込みがある」
 3…「取組内容の拡充や見直しが必要」

進行管理シート

目標 【持続】7. 持続可能な経営に努めます

実現方策 7-2 有収率の維持及び料金収納率の向上

1. 主な指標

PI番号	指標名	単位	2017	2019数値	2028（目標値）
B112	有収率	%	94.7	94.4	95以上

2. 具体的な取り組み（令和元年度）

○漏水調査の実施

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	計画的かつ効率的な調査の実施と、調査結果蓄積による漏水防止対策の検討を行う。	上水道工務課	14,938	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	調査の実施により漏水を142件発見し、292,296（m ³ /年）の漏水が防止できた。	評価	1
---------	---	----	---

○料金徴収・滞納整理業務の強化

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	適切な水道メータの検針や取替・管理業務を継続しつつ、料金未納者への適切な措置を講じる。	料金課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	料金の現年度収納率（納期到来分）について、収納率は98.6%となり、直近数年と同等の収納率を達成している。	評価	1
---------	---	----	---

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

3. 総合的な評価と方向性

総合評価	1	<ul style="list-style-type: none"> ・料金未納者に対し適切な指導を行い、収納率向上維持に成果を上げている。 ・計画的な漏水調査の実施により、漏水を食い止めることができたが、漏水量が過年度より増加したため、有収率が下降傾向になった。有収率が維持できるように引き続き計画的な漏水調査を実施する。 	方向性 継続
------	---	--	---------------

方向性	継続…現状通り取組を継続することが適当である 拡充…取組方法の拡充を図る必要がある 縮小…取組方法の規模の縮小を図る 改善…取組内容や方法を見直す必要がある 廃止…取組を廃止すべきである 事業完了…目標達成のため終了した事業
-----	---

評価	1…「目標に向けて計画通りに進捗」 2…「進捗に少し遅れがあるが、翌年度以降の計画期間内に目標到達する見込みがある」 3…「取組内容の拡充や見直しが必要」
----	---

進行管理シート

目標 【持続】7. 持続可能な経営に努めます

実現方策 7-3 財源確保の検討

1. 主な指標

PI番号	指標名	単位	2017	2019数値	2028（目標値）
—	企業債充当率	%	100	100	75

2. 具体的な取り組み（令和元年度）

○資産の有効活用等新たな財源の検討

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
新規	施設利用者の利便性向上と資産の有効活用により自主財源を確保するため、自動販売機設置事業者を入札により選定し、市有財産賃貸借契約の締結を行う。	総務課	〇	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	令和2年度より5年間で2,846,500円（年額569,300円）の貸付料が見込まれる。今後も別の資産について活用方法を検討してく。	評価	1
---------	--	----	---

○補助金・交付金の確保

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	耐震化補助金の採択基準を達成する。新たに活用可能な補助金を検討する。	総務課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	費用削減の取り組みを行い、生活基盤施設耐震化等交付金の採択基準の1つである料金回収率100%を達成した。しかし、近年の傾向として、料金収入の減少が続く一方、投資に伴う減価償却費が増加しており、料金回収率100%の達成が厳しくなっている。	評価	1
---------	--	----	---

○収支ギャップへの対応

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	収入の確保、費用の削減の取り組みにより収支改善を図る。	総務課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	令和元年度は料金収入が大幅に減少したものの、収入で加入金が増加するとともに、費用で受水費が減少したことにより、黒字を確保することができた。しかし、今後も料金収入は減少するとともに、減価償却費等の増加が見込まれ、収支の状況は厳しくなると考えられる。	評価	1
---------	---	----	---

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

3. 総合的な評価と方向性

総合評価	1	保有している資産について有効活用の検討を進め、さらに新たな財源確保を目指す。 しかしながら料金収入の減少や減価償却費の増加等で今後の収支状況は厳しくなると考えられるため、財源確保の検討を今後も進めていく必要がある。	方向性 継続
------	---	--	---------------

方向性	継続…現状通り取組を継続することが適当である 拡充…取組方法の拡充を図る必要がある 縮小…取組方法の規模の縮小を図る 改善…取組内容や方法を見直す必要がある 廃止…取組を廃止すべきである 事業完了…目標達成のため終了した事業
-----	---

評価	1…「目標に向けて計画通りに進捗」 2…「進捗に少し遅れがあるが、翌年度以降の計画期間内に目標到達する見込みがある」 3…「取組内容の拡充や見直しが必要」
----	---

進行管理シート

目標 【持続】7. 持続可能な経営に努めます

実現方策 7-4 組織力の維持・強化

1. 主な指標

PI番号	指標名	単位	2017	2019数値	2028（目標値）
C201	水道技術に関する資格取得度	件/人	1.43	1.66	1.43以上
C202	外部研修時間	時間/人	3.6	7.9	7.0
C203	内部研修時間	時間/人	1.7	2.3	3.0
—	業務マニュアル整備率	%	75	82	100

2. 具体的な取り組み（令和元年度）

○人材の確保

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	局で実施している事業を円滑に進めるため、技術職員の確保を人事担当部局も協力して努力をしていく。	総務課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	局職員の高齢化等もあり、今後技術職員の不足が懸念されるため、上下水道局として職員の確保について努力をしていく。	評価	2
---------	---	----	---

○人材の育成

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	職員の資格取得を奨励し、全体としてスキルアップを図る。	総務課	290	継続
継続	新規配属職員向けの研修を実施し、基礎知識の習得を目指す。	総務課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	業務に必要と考える資格取得については、順調に進んでいる。今後も業務に支障がないように職員の異動等を注視しながら、必要な資格取得・研修を推進する。	評価	1
---------	--	----	---

○業務マニュアルの充実

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性
継続	各課におけるマニュアルの状況確認、整理、改善の検討を行う。	総務課	—	継続

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題	前年度よりマニュアル数が増加している。整備状況の確認に合わせ、現状の課題を各課で共有し、整備の足りていないマニュアルの見直しを促していく。	評価	1
---------	---	----	---

種別	取組内容	担当課	事業費（千円）	方向性

【種別】新規・継続・再開

現状分析・課題		評価	
---------	--	----	--

3. 総合的な評価と方向性

総合評価	2	安定した組織を維持・強化するために、人材確保はもとより、必要な資格取得や研修で局内の人材の育成を行い、知識を共有して円滑に業務を行うことができるようにマニュアルの充実を図っていく。	方向性
			継続

方向性	継続…現状通り取組を継続することが適当である 拡充…取組方法の拡充を図る必要がある 縮小…取組方法の規模の縮小を図る 改善…取組内容や方法を見直す必要がある 廃止…取組を廃止すべきである 事業完了…目標達成のため終了した事業
-----	---

評価	1…「目標に向けて計画通りに進捗」 2…「進捗に少し遅れがあるが、翌年度以降の計画期間内に目標到達する見込みがある」 3…「取組内容の拡充や見直しが必要」
----	---